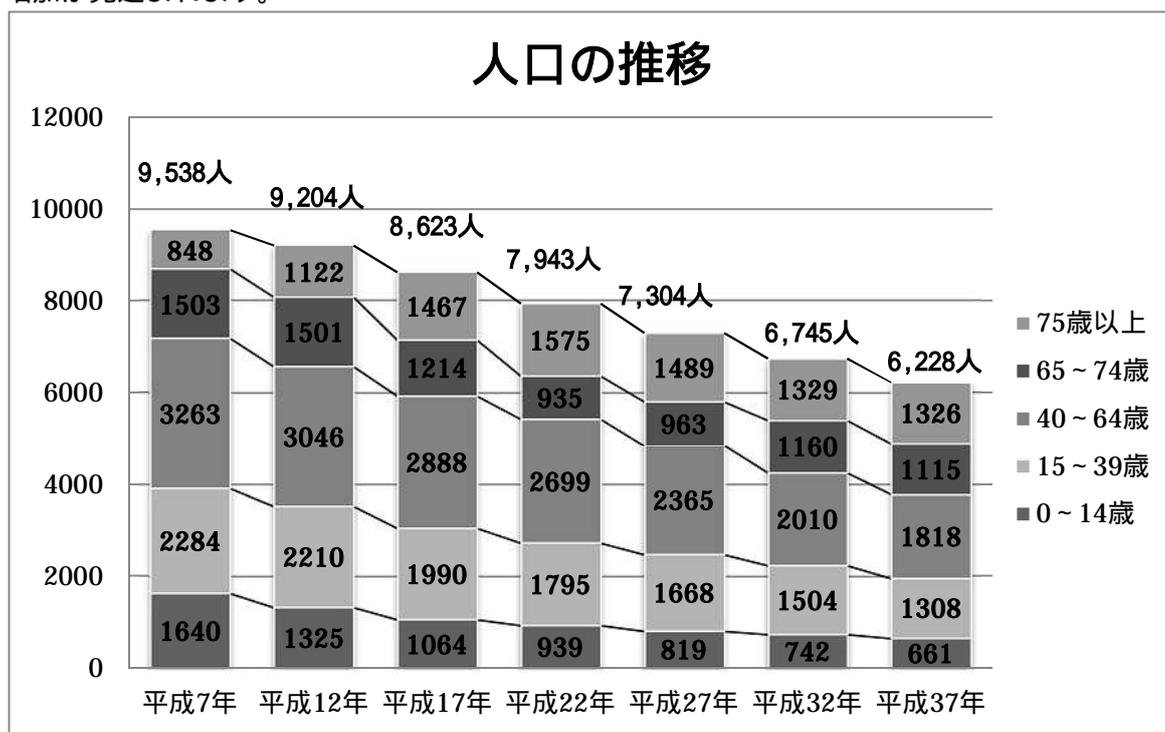


第2章 高齢者の現状と将来予測

第1 高齢者人口の推移

本町の総人口（住民基本台帳登録者数）は平成26年10月1日現在、7,758人です。平成22年度の国勢調査から推計した人口の推移をみると、介護保険制度がスタートした平成12年から平成27年の15年間で1,900人、20.6%減少しています。

また、この15年間に於いて、0～14歳、15歳～39歳、40～64歳、65～74歳、75歳以上の区分別年齢人口は、0～14歳の年少人口が急激に減少しており、構成比率も14.4%から11.2%まで下がっています。それに対し、75歳以上の後期高齢者人口比率は12.2%から20.4%と大幅に増加していることより、今後においても後期高齢者人口の増加が見込まれます。



資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本地域別将来推計人口」より

第2 高齢者世帯の状況

平成17年における65歳以上一人暮らし世帯数は160世帯であるのに対し、平成22年においては205世帯と5年間でおよそ28%の増加となっています。今後も高齢化が進む中で、65歳以上の一人暮らし世帯が増加するものと考えられます。

単位：世帯

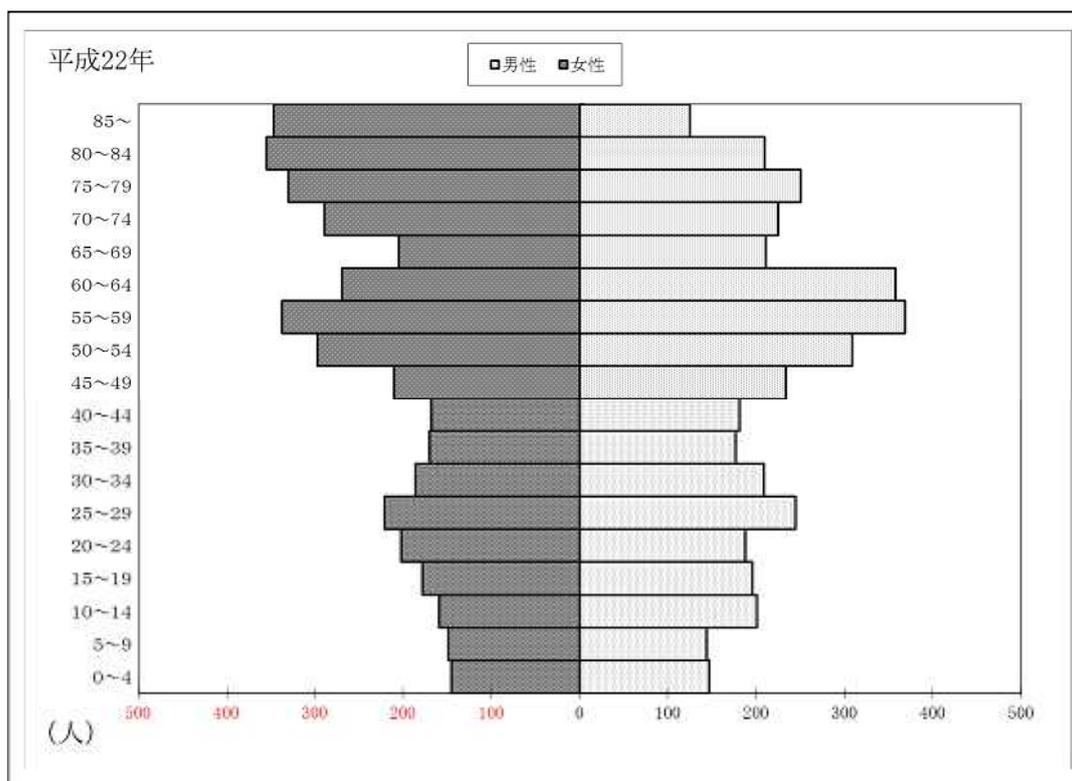
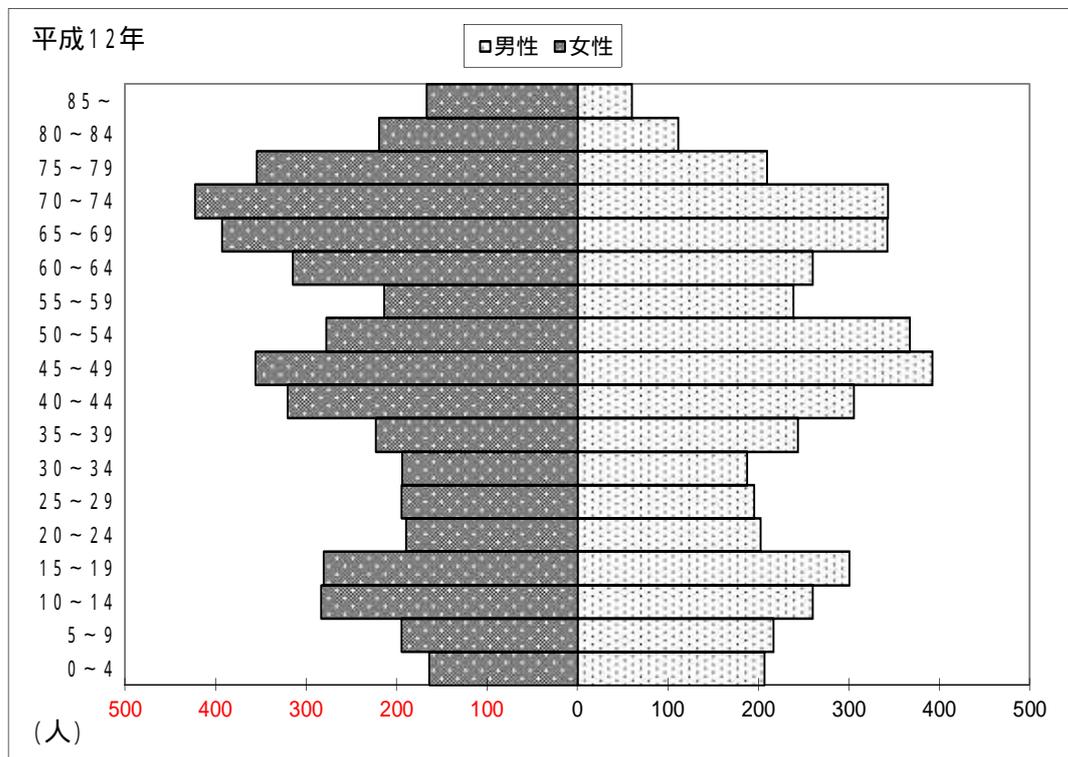
	H17年	H22年	H26年
65歳以上ひとり暮らし世帯	160	202	205
高齢夫婦世帯 (夫65歳以上、妻60歳以上)	180	176	181
高齢者のみ世帯	385	380	400

資料：山形県在宅高齢者調べより

第3 人口ピラミッド

平成12年と平成22年の人口ピラミッドを比較すると、年少人口の減少と高齢者人口の増加がより顕著になっています。

資料：国勢調査



第4 要支援・要介護認定者数

介護保険の要支援・要介護認定者数は、平成12年には、235人でしたが、平成26年9月現在、547人となっており312人(約2.3倍)に増加しています。また、高齢者数に占める要支援・要介護認定者数の割合は、平成26年9月現在およそ21.0%になっており、平成12年のおよそ9%と比較して激増しています。

単位：人

介護度/年度	H12	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
要支援1		26	26	21	25	27	24	22	27	31
要支援2		50	50	41	33	47	47	44	40	48
経過的要介護	14									
要介護1	61	70	70	116	108	122	123	130	134	133
要介護2	42	79	79	65	65	76	77	87	92	107
要介護3	33	69	69	73	69	79	78	91	88	87
要介護4	50	87	87	77	92	80	87	81	88	78
要介護5	35	59	59	57	62	69	71	70	66	63
計	235	440	440	450	454	500	507	525	535	547

資料：介護保険事業報告（各年9月末）

第5 高齢者人口の将来推計

国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、平成22年国勢調査による日本の総人口は1億2,806万人でしたが、平成42年には1億1,662万人と推計されており、本町の人口減少の傾向も続くものと見込まれます。一方、高齢者人口は年々増加し、平成54年にピークを迎え、それ以降は減少していくものと見込まれます。また高齢化率は、平成22年において31.2%ですが、引き続き上昇し平成37年には約38.8%が高齢者となるものと予測されます。

飯豊町推計高齢者人口

単位：人

	H27	H28	H29	H32	H37
前期高齢者人口(65~74歳)	983	1,013	1,042	1,131	1,278
後期高齢者人口(75歳~)	1,579	1,567	1,556	1,521	1,464
計(65歳以上人口)	2,562	2,580	2,598	2,652	2,742

資料：住民基本台帳を基にした健康福祉課推計

推計認定者数

単位：人

	H27	H28	H29	H32	H37
要支援1	34	38	38	41	44
要支援2	48	47	53	61	67
要介護1	129	128	124	137	160
要介護2	120	135	145	160	177
要介護3	90	95	98	112	127
要介護4	73	67	63	69	80
要介護5	66	69	75	82	86
計	560	579	596	662	741

資料：住民基本台帳を基にした健康福祉課推計

第6 各種検診の受診状況と健康相談状況等

(1) 各種検診の受診状況

平成25年度特定健康診査(40歳から74歳の国保の方)の受診率は45.0%、後期高齢者健康診査(75歳以上の方)の受診率は被保険者を対象として17.3%となっています。

平成23年度からは女性特有のがん検診事業ががん検診推進事業となり子宮頸がん検診と乳がん検診に大腸がん検診が加わりました。さらに平成23年度から肝炎ウイルス検診が加わりました。

単位：人(%)

	H23	H24	H25
特定健康診査	574 (43.1)	554 (42.1)	586 (45.0)
後期高齢者健康診査	277	240	288
胃がん検診	778	741	759
子宮がん検診	403	412	409
乳がん検診	288	366	337
大腸がん検診	947	940	1051
前立腺がん検診	373	351	363
肺がん検診	413	393	411
肺炎ウイルス検診	195	225	118
結核検診間接撮影	732	769	801
歯周疾患検診	14	18	13
高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種	351	87	85
インフルエンザ予防接種	1271	1266	1289

資料：行政資料(各年度末)特定健康診査は法定報告

(2) 健康相談、健康教室の状況(特定保健指導・健康増進事業関係)

特定保健指導は糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備軍の減少という観点から平成20年4月から実施し健診受診者を積極的保健指導、動機付け支援の階層に分類し実施しています。また、健康相談、健康教育は健康増進法により実施し、健診の結果説明会や住民対象の健康についてのお話等の内容となります。

単位：人(%)

	H23	H24	H25
特定保健指導 積極的支援終了者	7人(22.6)	9人(37.5)	10人(34.5)
特定保健指導 動機付け支援終了者	25人(41.7)	48人(73.8)	41人(66.7)
健康相談	35回 498人	17回 227人	26回 314人
健康教育	30回 540人	38回 524人	55回 562人

資料：行政資料(各年度末)特定保健指導は法定報告

(3) 健康づくり事業の状況

高齢化が進む中で、寝たきりや認知症等で介護が必要になる高齢者が増えてきています。町民が健やかで心豊かに生活できるよう、健康を維持し病気の発症を予防するために健康づくりの柱である栄養・運動を中心とした事業を展開しています。運動実践教室は平成24年度より飯豊町総合スポーツクラブ「キララ」に委託し運動できる環境の拡大に努めています。

単位：人

	H23	H24	H25
生活習慣改善支援事業	3コース 延 124人	7コース 延 299人	6コース 延 128人
運動実践教室	6コース 延 322人	5コース 延 499人	7コース 延 780人
出前健康講座	5回 129人		
栄養改善事業	18回延 242人	11回延 167人	18回延 208人
こころの健康事業	1回 250人	1回 26人	3回 120人

資料：行政資料（各年度末）

(4) 疾病の状況

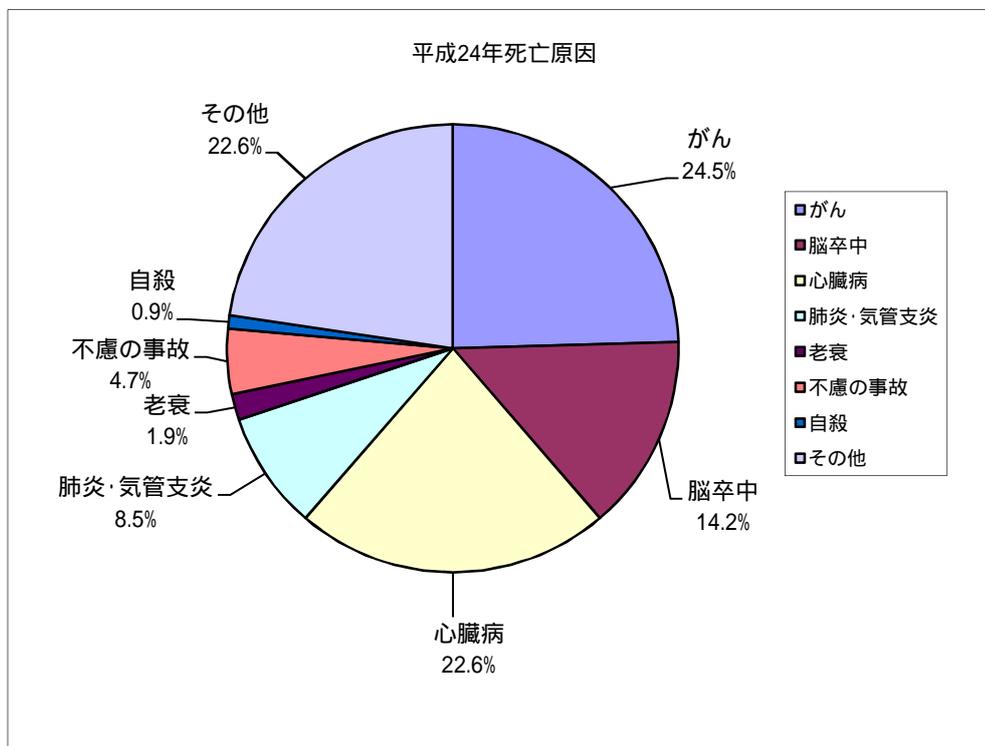
国民健康保険の平成26年5月診療分疾病分類別統計より年齢階層別件数上位6疾病を見ると、高血圧性疾患が50歳から1位となっており、歯周疾患、その他の内分泌疾患、糖尿病が上位にあります。

(単位：%)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
40才 ~49才	歯周炎・歯周 疾患 (14.94)	気分[感情] 障害 (8.97)	その他の内 分泌疾患 (5.98)	統合失調症 (5.98)	神経症性 障害 (5.98)	高血圧性 疾患 (5.98)
50才 ~59才	高血圧性 疾患 (19.03)	歯周炎・歯周 疾患 (12.50)	その他内 分泌疾患 (7.07)	糖尿病 (5.44)	胃炎及び十 二指腸炎 (4.90)	統合失調症 (4.35)
60才 ~69才	高血圧性 疾患 (28.44)	歯周炎・歯周 疾患 (9.94)	その他内 分泌疾患 (6.73)	糖尿病 (5.51)	その他歯 の障害 (3.67)	関節症 (2.29)
70才 ~74才	高血圧性 疾患 (29.85)	歯周炎・歯周 疾患 (8.12)	糖尿病 (7.07)	その他の内 分泌疾患 (5.50)	その他歯 の障害 (3.67)	脊椎障害 (3.41)
75才 ~	高血圧性 疾患 (30.64)	その他の内 分泌疾患 (4.60)	糖尿病 (4.50)	その他の歯 の障害 (3.67)	胃炎及び十二 指腸炎 (3.48)	虚血性心 疾患 (3.16)

(5) 死亡原因

平成24年の飯豊町の死亡者数は107人で、死亡原因をみると第1位は、がん、第2位は心臓病、第3位が脳卒中となっており、三大生活習慣病による死亡が60.76%になっています。



第7 地域資源の状況

(1) 主な人的資源

団体名	活動内容
社会福祉法人 飯豊町社会福祉協議会	高齢者の暮らし応援・いきいきサロン・老人クラブ活動支援・障害者福祉・生活福祉資金等の貸付・福祉サービス利用援助事業
飯豊町民生委員・児童委員協議会	地域住民の生活状況を把握し、福祉行政や社会福祉施設と連携し保護指導する。
いいでシルバーサポート会	介護予防事業「ほのぼのサロン」実施
認知症サポーター	研修会を通して認知症の人や家族への理解を深める
食生活改善推進委員会	理想の食生活の普及・啓発
NPO法人 いいでいい住まいづくり研究所	高齢者の住環境整備支援
NPO法人 ほっと	老人福祉施設訪問

(2) 町内の高齢者福祉関連施設

サービス区分	事業所名	定員
特別養護老人ホーム	特別養護老人ホームひめさゆり荘	80名
	地域密着型特別養護老人ホームひめさゆりの丘	29名
介護老人保健施設	飯豊町介護老人保健施設「美の里」	30名
認知症対応型 グループホーム	グループホームひめさゆり荘	9名
	グループホームひめさゆり荘2号館	9名
	グループホームさわやか	9名
訪問介護	訪問介護ステーション福祉の里めざみ	-
訪問看護	飯豊町訪問看護ステーション	-
通所介護	デイサービスセンターさわやかホーム	10名
	デイサービスセンターひめさゆり	10名
	日帰り介護センター福祉の里めざみ	18名
通所リハビリテーション	飯豊町介護老人保健施設「美の里」	-
短期入所	短期入所生活介護センター福祉の里めざみ	20名
	特別老人ホームひめさゆり荘	20名
居宅介護支援	居宅介護支援センターさわやかホーム	-
	在宅介護支援センターひめさゆり荘	
	在宅介護支援センター福祉の里めざみ	
介護予防支援	飯豊町地域包括支援センター	-
介護予防施設	飯豊町高齢者能力活性化センターなでしこハウス	-
	飯豊町高齢者介護予防センターひまわり館	

飯豊町の施設整備率

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設とグループホームを合わせた入所施設の整備割合は、置賜3市5町の中で、平成22年度末は、川西町、長井市に次いで3番目でしたが、平成23年度にグループホーム（9床）、平成24年度に地域密着型特別養護老人ホーム（29床）が整備されたことにより、整備比率（総ベッド数166床÷65歳以上人口2,525人）は6.57%となり、置賜地方で川西町について、入所系施設が整備されている自治体となりました。このことは、町民の皆さまの入所ニーズに応えることとなりますが、同時に介護保険料を引き上げる大きな要因となっています。

(3) 飯豊町民が利用している主な町外施設

サービス区分	事業所名
特別養護老人ホーム	特別養護老人ホーム慈光園（長井市） 特別養護老人ホーム寿泉荘（長井市） 特別養護老人ホームさいわい荘（小国町） 特別養護老人ホーム成島園（米沢市） 特別養護老人ホームまほろば荘（高島町） 特別養護老人ホーム太陽の里ふたば（南陽市）
介護老人保健施設	介護老人保健施設リバーヒル長井（長井市） 介護老人保健施設かがやきの丘（川西町） 介護老人保健施設ほなみ荘（南陽市）
認知症対応型 グループホーム	グループホーム風ぐるま（長井市）
訪問介護	株式会社サン十字ハートケアひなた訪問介護サービス（長井市） ケアサービスさくら指定訪問介護事業所（長井市） ヘルパーステーション風ぐるま（長井市） ヘルパーステーションさわやか（南陽市） JA山形おきたま福祉センター川西（川西町）
訪問看護	湖山病院訪問看護ステーション（川西町）
訪問入浴	あすなる在宅介護サービスセンター（米沢市）
通所介護	ケアステージとこしえ西大塚（川西町） けんしんリハビリデイサービス（川西町） ツクイ長井（長井市） デイサービスセンター風ぐるま（長井市） デイサービスセンター風ぐるま平野（長井市） 天然温泉竹とんぼ“彩時季”（高島町）
通所リハビリテーション	介護老人保健施設リバーヒル長井（長井市）
短期入所	特別養護老人ホーム慈光園（長井市）
特定施設生活介護	介護付有料老人ホームサンメイトきらら（米沢市） 介護付有料老人ホームほほえみ（長井市） 介護付有料老人ホームやすらぎ苑（米沢市） ケアハウスウェルフェア慈光園（長井市）
居宅介護支援	かがやきの丘居宅介護支援事業所（川西町） 株式会社サン十字居宅介護サービスしらたか（白鷹町） 株式会社サン十字ハートケアひなた居宅介護支援サービス（長井市） ケアプランセンター竹とんぼ（高島町） 指定居宅介護支援事業所風ぐるま（長井市） 長井市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所（長井市） JA山形おきたま福祉センター川西（川西町） 寿泉荘居宅介護支援事業所（長井市）

第8 日常生活圏域ニーズ調査

この調査は、高齢者の心身の状況や健康状態、日常生活の状況等を伺い、更に介護保険制度に対する意見・要望等を把握し、計画策定のための基礎資料とすることを目的として実施しました。

(1) 調査の概要

調査対象者：町内在住の第1号被保険者のうち、介護認定を受けていない方及び要支援から要介護度1までの介護認定を受けている方から無作為抽出により約1,500名を対象とする。

調査方法：郵送配布・回収

調査期間：平成26年3月14日～平成26年3月26日

回収率

年齢区分	配布数			回収数			
	男	女	計	男	女	計	回収率
65歳～69歳	199	124	323人	153	104	257人	79.6%
70歳～74歳	130	149	279人	90	133	223人	79.9%
75歳～79歳	108	207	315人	87	169	256人	81.3%
80歳～84歳	111	205	316人	90	163	253人	80.1%
85歳以上	79	189	268人	66	160	226人	84.3%
計	627	874	1,501人	487	729	1,216人	81.0%

(男性で年齢不明者1名あり)

(2) 主な質問と回答

家族構成について

区 分	人	%
ひとり暮らし	128	10.5
家族など同居	926	76.2
その他	15	1.2
無回答	147	12.1

普段の生活で介護・介助が必要性的について

区 分	人	%
必要ない	804	66.1
必要だが受けていない	117	9.6
受けている	110	9.0
無回答	185	15.2

介護・介助が必要になった主な原因について

区 分	人	%
高齢による衰弱	72	26.1
認知症（アルツハイマー病等）	34	12.3
脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	27	9.8
関節の病気（リウマチ等）	27	9.8
骨折・転倒	24	8.7
その他	92	33.4

介護・介助をしている人の年齢について

区 分	人	%
65歳未満	53	58.2
65歳～74歳	16	17.6
75歳～84歳	13	14.3
85歳以上	9	9.9

外出を控えている理由について

（回答者の30.8%の方が外出を控えていました。）

区 分	人	%
足腰などの痛み	227	38.6
交通手段がない	69	11.7
耳の障害（聞こえの問題等）	47	8.0
その他（トイレの心配・外での楽しみがない等）		

家族や知人友人以外の相談相手について

区 分	人	%
医師・看護師	370	23.0
その様な人はいない	327	20.4
民生委員・社会福祉協議会	301	18.7
その他・無回答	608	37.9

健康について（普段、自分で健康だと思っているか）

区 分	人	%
とても健康	97	8.0
まあまあ健康	742	61.0
あまり健康でない	242	19.9
健康でない	79	9.5
無回答	56	4.6

介護を受ける場合、希望する場所について

区 分	人	%
自宅	427	36.8
施設（特別養護老人ホーム等）	360	31.0
医療機関	108	9.3
子どもなど家族の家	48	4.1
わからない・その他	217	18.7

介護が必要になった場合の希望について

区 分	人	%
自分で生活が継続できるように在宅介護や医療の充実	299	24.6
介護度の進行を抑えるため予防的なサービスの充実	262	21.5
長期入所できる介護保険施設を増やしてほしい	221	18.2
介護等について身近に相談できる窓口の増設	189	15.5
その他	245	20.1